

**製品名: サイクリン A2 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe01870**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.51mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 49 kDa; Observed MW: 49 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CCNA2
別名	CCN1; CCNA
遺伝子 ID	890
SwissProt ID	P20248
免疫原	ヒトサイクリン A2 の合成ペプチド

**背景**

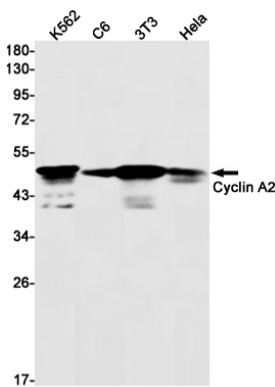
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、高度に保存されたサイクリンファミリーに属し、そのメンバーは細胞周期を通して

タンパク質存在量の劇的な周期性によって特徴付けられます。サイクリンは CDK キナーゼの調節因子として機能します。異なるサイクリンはそれぞれ異なる発現および分解パターンを示し、各有糸分裂イベントの時間的調整に寄与します。生殖細胞にのみ存在するサイクリン A1 とは対照的に、このサイクリンはすべての組織で発現します。このサイクリンは CDC2 または CDK2 キナーゼに結合して活性化し、細胞周期の G1/S 期および G2/M 期の両方の移行を促進します。

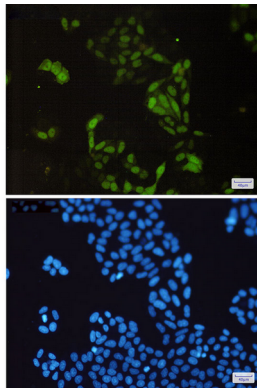
## 研究分野

細胞生物学

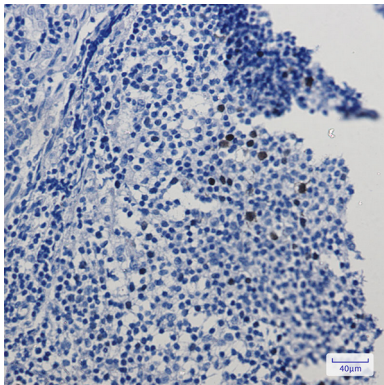
## 画像データ



サイクリン A2 抗体を使用した、K562、C6、3T3、Hela 溶解物中のサイクリン A2 のウェスタンブロット分析。



サイクリン A2 抗体と DAPI (青) を用いた HeLa 中のサイクリン A2 (緑) の免疫細胞化学分析



サイクリン A2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。